

中学生の部

戦争がない世界、おだやかな世界、自由な世界
動物、植物、人間みんなの夢見る理想
それぞれが思う本当の「平和」とはなんだろうか

今から80年前
この大空は戦闘機でうめつくされあたりには火の渦
それにくらべて今は大空にはばたく鳥が「平和」をもたらしている

戦争や災害がなくて、
人や動物が幸せに生きること

私たちの見るこの風景毎日地球を照らすこの太陽
笑顔あふれる私の学校私の大好きな友達たち
今全てを失ったらどう思うだろう

きれいな空だな

「ただいま」
「おかえり」
今日も平和だなあ

いつも通りに起きていつも通りに学校に行って
あたりまえに朝ご飯があってあたりまえに勉強できて
このいつも通りやあたりまえがあることが平和ということだったのか…

世界中が平和になり
誰もが笑っている
そんな時代が来ればいいのに

同じ地球に住み同じ人間であるのならば
助け合い、
分かち合わなければならない

全ての人の命を救うことはできないけれど
少しでも多くの人に手を差し伸べたら
1人でも多くの命を救えることができ、それが平和への第1歩へと繋がって
いくかもしれない

今、おれが何もしなくても平和で幸せ。
今、おれががんばれば、数年後、数十年後には平和が増えるかもしれない。
今、全員ががんばれば、どうなるのだろうか。

戦後80年の今年、
私たちは「本当の幸せ」を見つけられた？
まだ見つからないのなら、力をあわせてさがそうよ

小鳥のさえずり、鳴り響く銃声
きれいな草花、くだけた建物 同じ星なのになぜか「ちがう物」
その「ちがう物」をいつか「同じ物」にしたい。

人生の中で
友達と遊ぶという時間は
きっと当たり前じゃない

暖かい家の中で
幸せな生活が送れる
それはものすごくうれしいことだ。

日本人が見据えるよりよい未来と
貧困者が見据えるよりよい未来はきっとちがうんだろうな
1つの地球みんな平等1つの世界になればいいのにな

今年は戦後80年
私たちには戦争の怖さ、悲しさ、過酷さはわからない
でも未来の日本は守りたい

多くの人が平和を叫んでも
誰か1人がそれを否定したら平和は壊れる。
優しい人は弱いのかな

平和は当たり前、
でも平和が当たり前な気がしないのは
誰かがそう思っていないから？

個性は大事、ひとりひとりの考えも大事。
でも「平和」についてはみんなで心を合わせるのが大事だと思う。
難しいことだけど、せめて「戦争」をするという考えは捨ててほしい。

戦争はなぜ行われる？
戦争で誰が幸せになる？
なぜ戦争をしなければならないのだろう

未来の事を考えろと言うけれど、今しか無い今を生きたい。

人が目の前で死んでゆくのを見たことはある？
でも戦時中はそれがあたりまえだったのかもしれない。
世界の人と言いたい。そんなあたりまえ、あっちゃいけないと。

戦争なんかやめよう。
けなし合わないで、たたえあおう。
互いの手を取りあって、今、平和に一步近づこう。

誰しも争いなんて望まない。
誰しも幸を望むでしょ！ だからもうやめよう。
人が人を傷つけるのは…

みんな考えが違う。そんなの当たり前。
だから武力で戦わないで。伝え合おう。認め合おう。
その先に待っているから。哀しみじゃない。喜びが!!

けんかをすること 仲直りすること 話し全えること 平和のおかげ

試合で勝つこと、負けること、
下剋上をおこすこと、ないて悲しむこと、
全てが平和だから

戦争の傷跡を背負いながら、
共感と理解で未来を築く
世界の平和は、僕たちの選択次第なのだから。

僕たちの平和はたくさんの人の上にある。
世界が平和になるように
お互いに心をつないでいこう

遠い空の彼方に希望の光が見え、
人々の光に希望の光が灯るとき、
世界は少しずつ平和への道を歩み始める

戦争は、ただ命を落とし、戦死者が増えるだけ。
町はただ、黒く、赤く、絵の具のように染まるだけ。
平和はただ、笑顔でいられることだ。

戦争が起こった時点でそれは平和ではない。
人が死ぬだけ。
戦争はくだらない。

人は生まれたころから自由だ
だけど人は鳥かごの中にいるみたいだった。
今もそう、なんでだろうね。

平和とは、銃と爆弾のない世界
平和とは、悪夢を見ずに眠れること
平和とは、みんなが笑顔で暮すこと

青い空に戦火の跡は消え、
小さな手が花を摘む時。
笑顔が広がる未来を信じて。

昔の人が戦ってくれたからこそ、
今ここに平和がある。
だからこそ、必死に生きよう。

平和な世の中であるために
尊重、平等、ボランティア…
小さなことから1歩ずつ

「やってみたい」
そう思えばすぐできる
当たり前じゃないこと、幸せなこと。

平和ってなんなの
自分たちの平和のために戦争をするの
平和のための戦争ってどうなの

戦火の闇を越えて、
祈りは静かに響き渡る。
平和の光が未来を照らす

僕らは知っている。
世界にはたくさんの人が夢に向かっていけないことを
今をかえるには、僕らには何ができるのか

「今日は何もなかった、普通だった。」
それは、当たり前のことではない。
平和ってことだ。

広島平和記念資料館で見る人々の真剣な眼差し。
戦争の記憶を受け継ぐ。
「平和」を願って。

当たり前のことを当たり前にする。
それはすごく幸せなことだ。
これがどこでもいつでも続けばいいのに。

平和とは、テレビでニュースを見ていても良いことしか流れないこと。
平和とは、一人ではなくみんなで作るもの。
僕にできることは、みんなにこのことを伝えること。

自由な空に飛び立つハトのようにしばられないこと。
もしも僕たちにできることがあるならば、
「思いのすべてを歌にしてきみに伝えることだろう」

1人1人が自分の大好きなことを思うぞんぶんでできること。
今起こってしまっている戦争を未来になってその国どうして
笑い合えること。
今持っている「武力」を「優しさ」に変えていこう。

結局みんな後悔するんだからさ
争うより協力しようよ
その日は、ハトが飛んでいる。

戦火の跡に静寂が訪れ
傷ついた心に希望の光
平和は、誰もが願う未来の鍵

毎朝、挨拶が飛び交う。
笑顔で挨拶を返してくれるのが本当に嬉しい。
今日も一日頑張ろう。

「平和」とは何か。
私は笑顔がある世界のことだと思う。
世の中の心がキレイな人を笑顔してあげたいよ。

やたらと悪口を言う人たち。
言う人は面白いと思っているけど、私の心は泣いている。
このことがなかったら、幸せなのになぁ。

みんなが笑顔でいられる
争いのない世界を願って
平和な未来を夢見ている

空を見上げて
心をひとつに
平和を願う

人々の笑い声。
ドーンと響く爆弾の音。
同じ地球の上なのに、こんなにも隔たりがある。

私の幸せはぐっすり眠ること。
あなたの幸せはなんですか？
みんなの幸せが守られたなら、それはきっと平和な世界。

情報の時代にどうして武力を使うのか？
言葉の暴力もだめだけど、
単なる暴力はもっとだめ。

静かな朝、
鳥のさえずりに包まれ、小さな幸せが心に広がる。
かみしめよう、この何気ない日常からの贈り物を。

この青空はきっと続いている。
遠い街で誰かが見上げる星空に。
平和の願いはどこまでも広がる。

争いのない空に願いを込めて
心の中に平和の種をまき
未来へと光をつなぎ、永遠に輝く

心の中に静かな光を灯し
平和という言葉温かく包み
未来への希望咲き誇るように

平和は誰かの犠牲の上に成り立つものではない
みんなが同じ目標に向かって努力することで得られる
それができれば子どもが泣かない世界ができる

罪の無い人々の笑顔、
自由、命をもうばっていく戦争に平和は待っているのだろうか。
何もかもうばっていく戦争に人々は涙を流す。
いつか、この世界にハトが行き渡るように私たちは手を取り合う。

ロシアとウクライナの戦争のニュースが流れる
世間ではそれが日常になっている
普通と思わないこと、それが僕にできること

戦争をしている暇があれば野球をしよう
誰もが夢中になれて誰もが熱くなれて
そして誰もが笑顔でいられる

青い空きれいだと僕は思う
はやく戦争が終わりますように、とどこかで誰かが思う
果たして同じ景色なのだろうか

「あの時の広島は地獄だった」。
緑豊かな町はさら地となる。
日本から世界へ美しいをつなぐこと。

今日もまたネットニュースに「戦争」の文字が目に入る。
空は黒く染まり、鉄が宙から降ってくる。
青く輝く色に少しづつ染めよう

私たちは生まれたくて生まれたのではない、が、
どうせ生まれたのですから平和に楽しく、
苦勞するのが人生なんですよ！！死ぬまで生きましょうよ。

戦争なんてなければいい。
1人1人が平和で楽しく暮らせる人生、
そんな人生を世界に届けられたらなあ。
いつか世界が平和となる日まで。

「戦争」と「平和」、求めるのは確実に「平和だ。」
だけど、世界が平和にならないのはなぜだろう。
平和が毎日続けばいいのに。

「おはよう」が言える毎日。
みんなが幸せでありますように。
そして世界が平和でありますように。

静寂の森に風がそっと吹き
笑顔が咲く花のように
心に平和と希望が静かに広がる。

夜の静寂におにぎり微笑み
お箸は少し照れながら揺れる
この味わいは秘密にしておこうか？

無限の星空が広がる 一つだけの輝きが この世界を優しく照らす。

「正義のための戦争」で
人を殺してしまうなら
正義はないかもしれない

この世に「本当の戦争」を望んでいる者などいない。
なのに、戦争が始まり、それに愛する人を壊され、自分を壊されていく。
戦争は必ず苦しむ人がある。
戦争の記録を見つめ、僕らで協力して後世に平和な世界を。

火の海の中の故郷を見て死にたいと思う。
そんな自分の気持ちに悔しくなる。
平和がおとずれるのは自分のことをあきらめない強い気持ちをもつところ
から。

自分が幸せでも他の人は幸せじゃないかもしれない。
他人の幸せは自分の幸せだ。
幸せは1人がよくても他の人が幸せじゃなければそれは幸せとはいわな
い。

「辛」を「幸」にするために
日々の中で小さな幸せを見つける
そうやって、1つの線が増えた。

80年前の夏と今

私たちが今見ている空は
きっと「平和」と言えるんだろうなあ

80年前の夏、悲劇は終わった。

果たして、「終わった」で完結してもいいのだろうか？
今を生きている私たちに託されたことってなんだろう？

何もないただ暇な日々、
ただその日々を戦死者が望んでいたのなら、
今の楽しんで生きていきたい。

相手のことを考え生きれば
戦争なんてことは
おこらないと思う。

「戦争」が続こうが
「心」が壊れようと
生きて、生き抜いてほしい。

人は歴史を繰り返す。
戦争など二度と起こしてはならないとうわべだけの言葉で。
ハトが自由に空をとべる日はくるのだろうか。

家に帰ったら家族がいて。
学校に行けば友達がいて。
そんなあたりまえの幸せが続くことを、今もずっと願っている。

今私たちがみてる空や山が
戦争によって暗くなったり見えなくなったりしないように
私たちができることを一つ一つ
あたりまえのことをあたりまえにできるように

まだ眠る町を静かに走る影
平和はきっと誰かの朝にもらえる
ごみを集める人の手がつなぐ未来

幸せになりたい
この人生みんな楽しい毎日ではない
幸せはいつくるのだろうか

一人一人の個性。
一人一人の思い。
一人一人が尊重されるのが、平和。

心をつなぎ合い
笑顔があるれる世界へ
来来はきっと輝く。

平和への願い
銃声のない世界を夢見て
心をつなぎ争いを止めよう。

忘れない、語り継ぐために
この痛みを胸に抱いて
「戦争は終わらせよう」と、

この戦争をおわらせるために 奥底から祈り続ける
平和は必ず訪れると信じて
共に歩もう、希望の未来へ

戦火の跡に花が咲き
手を取り合う人の声。
ずっと守りたい、平和の道。

僕が生活している時に世界のどこかで戦っている。
僕が見ているいつもの景色とだれかが見ている焼けた野原。
見てみぬふりをするんじゃなくて自分ができることをしよう。
良いことなんか無い戦争なんて止めてしまおう。

なぜ争いをするのか
争いはなにを生むのか
平和が失われるだけなのに

争いの雲が晴れて青空になる
誰もが平和だと言える日々を願って
私は今日も言うの「また明日ね」って

争いの雲が晴れて青空になる
太陽の光
心に差し込む明日への希望

争いの雲が晴れて青空になる
明日の幸せをただ願う
この先も“君が笑う”(戦没者の方々の冥福を祈って)

日本は昔、戦争は「善い行い」だった。
そんな世の中はあってはならない。
「戦争」を「平和思考」の文字に変えよう。世界中をこの思考に。

悪いヤツに力で100倍返し。
それは、まぎれもない
愚行である。

間違いを認める勇気が
戦争の影を消し去り
優しさが命を育む。

「おはよう」で始まり
「おやすみ」で終わる
そんな一日が世界中にあるといいな

私達が今過ごしている平和は、
誰かの涙の上で成り立っているのかもしれない。

当たり前の日々は静かな野原みたい
だけど戦争の記憶は枯れた木の根っこのように残っている
この根っこをどうすればいいのか、考えるのは誰かじゃない全員だ

平和とは、
自分がどう生るかで
変わっていくもの。

平和は人それぞれの
考えがあるから、
平和がすべてはまたちがう。

みなが平和をねがっているとは
かぎらないことを
みながしるべきじじつだということを。

夜になり ホカホカご飯と 家族の笑顔

戦争中
人は笑顔を忘れてく
いつか思い出す日は来るのだろうか

うれしい時は晴れ、悲しい時は雨が降る
まるで空は人の鏡
今日の空はどうだろう

人が求める物はそれぞれ違うが
過去も未来も戦争中もテレビを見ている時も
心のどこかで変わらない日々を求めている

周りの人の生活ってみんな違う
戦争におびえる生活や食べるものを必死に探す生活
そんなことを思える生活を僕はしている

戦争について考える
食べる物が無い?人が多く亡くなっていく?
見たことも体験してもない日々を考えられるだろうか

みなと勉強
みなとご飯
楽しい毎日がいつまでも続く

平和とは 感情がとても豊かなこと

平和とは
世界で全くけんかがなく
世界のみなが笑っている

みんなで 一緒に 平和に生きよう!!!!

平和とは、気づかないほど静かな時間。
あたりまえの笑顔。
戦争とは、昨日のような空が壊れること。
笑顔が消えて、夢も消えていくこと。

平和とは、青い空の下で、笑い声が響き渡る事。
戦争とは、空が暗く沈み、響くのは銃声と叫び声。
二度と帰れない時間が消え去ること。

青空に みんなの笑顔 風がふく

平和はね
いつもきれいな青空を
見ることができることだよ

おはよう! こんにちは!
これを聞けるのは平和が維持されているから

自然の音 笑い声 平和ていいことだね

平和は人が信らいしあうこと
信用があれば殺しなんてうまれないメロスのように

平和がなくなり、符がはね、満貫
平和があれば、点が減り
みんなが平和

今日という日が平和、
世界では、戦争をしている国もあるけど、
そんな中でも 落ちつける時、
食事のときまでは世界中平和

平和とは
皆が笑って過ごせること
僕はそう考える。

軍事力でテッペン是要らない。
そんなでテッペンになるなら
幸福度でテッペンになれ。

戦いなんて要らない
隣見れば一緒に笑える仲間がいる。
それで十分じゃん。

平和の詩
書いている今が
平和な時

あたりまえ
それができてる
平和な時

信号機を信じること
それが、本当にそれが
平和への第一歩なのだよ

怒っちゃいそうになったら
とりあえず6秒数えなきゃ
なんて考えていたら怒りがとんだ

今日は誰かの誕生日
明日も誰かの誕生日
いっぱいケーキがたべれるな

信じる物がそれぞれ違うと
人の心はまとまらない
そうやって争いは起こる

「自分が信じる物こそ正義」と信じると、
どんなことでも
人々はやってのける

人々は平和を願うけど、
そんな歴史はほとんどない
なぜだろう

ずっと平和だったら、幸せが当たり前になるだろう。
ずっと戦争していたら、ささいなことにも感謝するだろう。
平和、戦争両方あって今がある

平和、
それは 1つのことでもこわれてしまう。
だけど、幸せはいくつでもある

平和、心があれば
つくることは簡単で
こわすほうが難しい。

そもそもずっと前から、平和という言葉があること自体おかしかったのかもしれない。

今の今まで、世界が平和になった瞬間は一度もない。複雑な感情をもった生物がごまんというこの世界はいつまでたっても、人々が言う“平和”にはならないのだろう。

想像もできない理想を求めて、人々は考えるが、美しすぎるが故に、実現し難い。平和とは、ある者にとっては、都合が良く、また別の者にとっては虚しいもの。

あるかもわからない理想を求めるより、今日の前にある“平和”よりすばらしいものに、すべての人が目を向けられたらいいなと思う。

私の周りは笑いであふれてる。
でも、ちょっと海をわたれば争いがある
不思議だな。

自分の「正義」をつらぬき通すことは
誰かの「正義」と
戦うということ

みんなが思ってる以上に
世界には
色々な人がいるんだよ

青空に銃声なくて風ひとつ
笑い声街に満ちれば戦は消える
手を取ってちがいを越えて明日を編む

必ず全員が「平和」になれるわけじゃない
「平和」という言葉のとらえ方はそれぞれ違うから
本当の「平和」なんて存在しない

戦争をしているところがあるからみんな平和にならない？
違うだろ？
彼らは平和を求めて戦争をしているんだよ。

平和とは、戦争が起きないことだけじゃない。
今、暮している人、今、生きている生き物すべてが笑顔になる時だ

呼吸ができること、
部活が終わって帰ったらご飯があること
その一つ一つのことにあるがとう。
平和な世界や育ててくれた親に…。

当たり前が
一番幸せで
一番平和なこと

人にとっての平和とは
人によって
まったくちがう

法律とは
安定した秩序のある社会をつくるためにあるもの
戦争がはじまればただの紙屑にすぎない

「平和」はあたり前じゃない。
どこかで苦しんでいるだれかがいる
自分にできることは何か？

起きて食べて寝るそんな退屈な日々
テレビの向こうで続く戦争はどこかつくり話のようだ
「ああ、退屈だ」私たちが過ちをくり返す前に
この退屈を愛そうじゃないか

誰かへの愛が争いを起こし、
そして争いを終わらせるのかもしれない
全ての人間が全ての人間を愛しいと思えばなんて
そんな夢Love&Peace

お互いの欲をうけ入れられないから事件は起こるし平和は崩れる
平和をつくるために私たちがすべきは欲の我慢だ
頑張れ私たち頑張ろう私たち

私は考えた平和のルールとはなんなのか
自由・平等・助け合い
失っていい命なんてこの世にはない

365日息を吐き吸っている
青い快晴の空を見上げ目をつぶる
昔の英雄たちの顔がうかび心の中で思う「私は今も生きている」と

私が生きている地球の中で今もこの瞬間争いは起きている
私がその中で出来ることボランティア活動・募金での支援
些細なことかもしれないけど1人1人の行動で平和の扉が開く

平和とはなにか
分からないから、人は試し、探究する。
平和は、何か分からないだから人類は考え続ける

平和
平和とはなにか分からない
ただ戦争は全員を悲しませる。

日本は80年前に戦争があった戦争はお互いに
人を殺し合うもの　それが今世界のどこかでも行われている
いつか世界に平和が訪れることを待ち望んでいる

戦争は自分達の嫌いな国と戦うもの
それはその国が気に入らなくて国を制圧しようとするから
そんな心なんかよりもみんな平等に生きる心を持つべきだと思う

戦争は今も終わらない　なぜだろう
私にできることは　なんだろう
私もまだ世界を少ししか知らない　でも
私よりも世界を知らない命が空へ行く　数えきれない可能性もだ
なんで　私も何かしたいのに

正義ってなんだろう
みんな自分達が正しいっていう
戦争に正義なんてないのに

ピカ　ドン
80年前のために
「できること」ってなんだろう

戦後80年祖父母から語り伝えられた戦争体験
いつまでも体験話が受け継がれる事に期待をして
戦争のない全世界の平和を願いたい

平和はいいな
いままでの人々ががんばってきた証

平和のリレー
つなぐ意思
終わらせない

平和は命の同じくらい大切

思いやる
相手のことを思えば 優しい気持ちになれるよね
思いやりを大切に平和な世界へ繋げよう

小さな花
心の中の思いやりの花
皆で咲かせよう 思いやりで溢れる平和な世界

赤青黄色 世の中にはいろんな色がある
きれいと感じる明るい世界 私の当たり前はとても幸せなこと
世界中の皆に明るい世界が広がりますように

弱肉強食だった中世代も狩りをしていた原始時代も
権力者がいた古代も争いがあった中世も身分制度があった近世も
戦争があった近代も苦しんでいる人がいる現代も
平和って存在するのだろうか 平和って何だろう

平和とは
みんなが守って
つなぐもの

松本市民が
平和を守るだけで
日本の平和の第一歩

今でしょ
平和のことを
思うとき

「ありがとう」その一言が
「ごめんなさい」その一瞬が
平和への道しるべ

言葉それは目に見えない手紙
言葉それは目に見えない応援団
言葉それは時に目に見えない凶器となる

みんなの白い鳩は、
笑顔・勇気・自信・希望をくれるんだよ。
だから平和な世界は白い鳩がいるんだよ。

私は思うんだ。
忘れちゃいけない事ってあるよね。
あの時のことを私はずっと心にしまってあるんだ。
いつまでも忘れないように。伝えられるように。

ぼくの願いは変わらない。
希望に満ちて明るく楽しく過ごしていると笑顔になる。
このまま平和な世界が続くように。だからぼくの願いは変わらない。

ピースは平和を意味する
世界が平和になるその日まで
ピースをして写真を撮り続けよう。

手元にある一枚の千円札
僕は課金に使うお金
戦争に巻き込まれた子供は、何に使うのだろう？

世界人類、誰もが望む愛と平和
達成するその日まで
僕は挑戦する。

手と手取り
違いを越えて
笑顔咲く

堺のない空
君と見上げる
明日を信じて

“やめようよ”
その一言が
きっと誰かの未来を変える

不登校な私
心も体もボロボロ
いつも癒してくれるのは音楽と家族が作ったご飯美味しいな

兄弟と遊ぶのが日々な私
喧嘩もするし嫌われるかもだけど幸せが一番だ

疲れた体を癒す
お父さんとお母さんのご飯
いつも美味しいご飯ありがとう

長崎原爆資料館に去年行った
原爆のせいで大切な命がすけていく
そんな日が起きない今日に笑顔

平和と言われたらこう思いつく
「誰もが時には泣き、時には笑う」
そんな日々を送れるように手をにぎる

喧嘩をすることはあるだが戦争はちがう、
喧嘩は、自分とその相手と、言葉や暴力による争い、
戦争は国と国になり、関係のない人たちも加わる戦い、
無駄な戦いはやめよう

戦争で市民を巻き込まないでください。
僕たち私たちのこれからの人生の中で1番若い今を
みんなで楽しみましょうよ。
戦争は、人の命を奪う、それで奪った人も、悲しむ、
そして奪われた人も悲しむ争いはやめましょうよ。